



[ものづくり補助金 成果事例集]

令和ものづくり元年
REIWA MONODZUKURI GANNEN
未来創造

株式会社和香園

Process of business approach

事業取組みの経緯

新規開拓を行う中で、お客様からもっとも求められるのは商品の安全である。そこで無化学農薬栽培に取組み、食品安全担保のため世界的な食品衛生規格「FSSC22000」を取得した。一方、袋詰め後の最終商品の異物検査については、設備がなく目視による検査のみであったが、取引先からの要望が増えるにつれ、早急な対応が必要であった。

Contents

事業内容

現状のお茶の製造工程において、目視検査では行うことができなかった袋詰め後の異物検出検査が、今回の検査機器の導入により可能となった。これまで最終商品の安全の担保ができなかったため提案が困難であった国や企業にも商品提案の機会が増えるようになり、販路開拓・拡大が可能となった。



鹿児島県大隅の大地に広がる自社茶畑

平成29年度補正 ものづくり技術

X線異物検出機の導入による ブランディング強化事業

X線異物検出機を導入することで、目視では対応することが難しかった異物を発見し、より安全な商品をお客様へ提供できるようになる。また今まで異物の問題で輸出することが困難であった国にも輸出できるようになり、販路開拓・拡大をさらに進めていけるようになる。

事業成果・達成要因

既存包装工程の末端にX線異物検出機を追加設置した。異物検出結果として、SUS304球・線、セラミック球、石英ガラス球の各5サイズ、計20種のテストピースを用い、10回中10回検出という記録が取れた。透過画像による形状認識により包装材の欠損等も検査でき、より幅広く異物検出に対応できるようになった。

今後の取組み

多種多様なパッケージ形状や異なった内容量で作られた商品を検査機器によって検査することで、当初計画していた、粉末形状以外の商品に関しても、展開を広めていきたいと考えている。これまでの成果を活かしつつ、安心安全な商品づくりと生産性の向上に取り組んでいきたい。



(左上) X線異物検出機

(右上) 操作風景

(左下) 粉末緑茶

(右下) 商品：ほうじ茶・あらびき茶（特）・あらびき玄米茶



令和ものづくり元年

未来創造 POINT!

安心安全な
お茶づくり

[専門家からのアドバイス]

導入から半年を掛けてX線異物検出機を謳った商品の出荷ができる状況となり、順調な進捗である。工場はFSSC22000対応のため数ヶ所に区切られた部屋の中に設備がたくさん設置されている。本格的な稼働の際はレイアウトやプロダクトミックスの工夫によって生産性が左右されない努力が求められる。

企業 PR

お茶づくりを始めて70有余年。化学農薬に頼らず、自社の茶畑で生産した茶葉を自社工場で製茶し、仕上げ・袋詰め・販売と一貫した生産体制でお届けしています。FSSC22000を生葉の製造から袋詰め工程まで、一貫して取得しており、安心安全なお茶づくりを行っています。



本社外観

企業概要

事業者 株式会社和香園
代表者 代表取締役社長 堀口 大輔
設立年月日 平成元年4月1日
所在地 〒899-7503 鹿児島県志布志市有明町蓬原848-1
TEL: 099-475-1023/FAX: 099-475-1517
<URL> <https://www.wakohen.co.jp>
(本社) 〒899-7503 鹿児島県志布志市有明町蓬原758

資本金額 1,000万円
従業員 84名
業種 飲食品小売業